

市内で実施中の

事業の進捗をお知らせします

筑紫小学校の南側斜面の 崩壊防止措置を行っています

筑紫小学校の南側斜面については、土砂災害の危険がある場所（土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域）として県に指定されていることから、崩壊防止措置を実施しています。

樹木の伐採などを行った斜面には、今後モルタルを吹き付けるなどした後、鉄筋などで固定することで崩壊を防止する措置を施工していきます。



▲工事のため、樹木を伐採した筑紫小南側の斜面

県道筑紫野インター線、山口原田線の 整備が進められています

この事業は、筑紫野市の玄関口、県道筑紫野インター線を延長し、県道山口原田線を通って原田方面への道路建設を行うものです。筑紫野インターにおける日常的な交通渋滞の緩和、交通安全の確保、災害時緊急輸送路の確保など

を目指して、福岡県那珂県土整備事務所が実施しています。本事業については、地元期成会の皆さんの長年における要望活動によるものです。

筑紫駅西口区画整理事業 筑紫原田線の整備を進めています

区画整理事業は、筑紫駅西口を玄関口として、駅前広場をはじめ都市計画道路、区画道路、公園、その他公共施設の整備改善および宅地の利用増進を図り、健全な市街地を造成することを目的として実施しています。

その一環として、都市計画道路筑紫原田線の整備を進めています。筑紫原田線は、西鉄筑紫駅方面と美しが丘北・原田方面をつなぐ道路で、開通によりアクセスの向上が期待されます。



▲筑紫駅方面と美しが丘北をつなぐ筑紫原田線



▲工事が進む県道山口原田線(原田から城山方面)

高尾川地下河川築造工事 二次覆工完了し、地下河川運用を再開

二日市地域の大雨による浸水被害を防止する、高尾川地下河川築造工事を福岡県那珂県土整備事務所が平成27年から進めています。

昨年6月から暫定的に地下河川の運用を開始していましたが、昨年10月から運用を休止し、トンネル部分の内部をコンクリートで補強する二次覆工工事、高尾川から地下河川に派する流入施設の工事を進めました。今年の5月には、二次覆工が完了したため、6月から地下河川の運用を再開しています。



▲新しい川の流れをつくったバイパス部分(右)



▲高尾川からの流入施設



▲二次覆工が完了したトンネル内部



▲トンネルを通過して河川に合流する流出施設

下見池埋立地の 整備が進められています

下見池は、安全確保と池周辺の環境改善を目的に、筑紫野市土木協同組合と市との協働により平成27年に埋立事業が完工しました。

現在は、筑紫高校(市内針摺東)の部活動のグラウンドとして使用するため、福岡県により整備が行われています。当該地は、災害時や緊急時には市においてさまざまな用途に活用する予定です。



▲グラウンドとして整備された下見池埋立地

工事期間中は、付近にお住まいの皆さん、通行の皆さんにはご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。